

(仮称) 龍北総合運動場整備基本計画 (概要版)

基本方針

.スポーツ機会の充実に資する施設

○市民の現代ライフスタイルに合わせてスポーツの機会を充実させ、誰もが気軽に利用できる施設とします。

.スポーツ技術の向上に資する施設

○施設・設備のレベルアップを行い、優れたスポーツ選手の育成につながる施設とします。

.スポーツ意識の向上に資する施設

○トップレベルの試合や大会の開催、誰もが惹きつけられるスポーツプログラムの展開を行い、市民がスポーツを始めるきっかけを作る施設とします。

.誰もが平等に使える施設

ノーマライゼーションの思想に基づきユニバーサルデザインを考慮して、誰もが平等に使える施設とします。

.市の誇りとなる施設

施設に市の象徴となる意匠を施し、ランドマークとして将来にわたって市の誇りとなる施設とします。

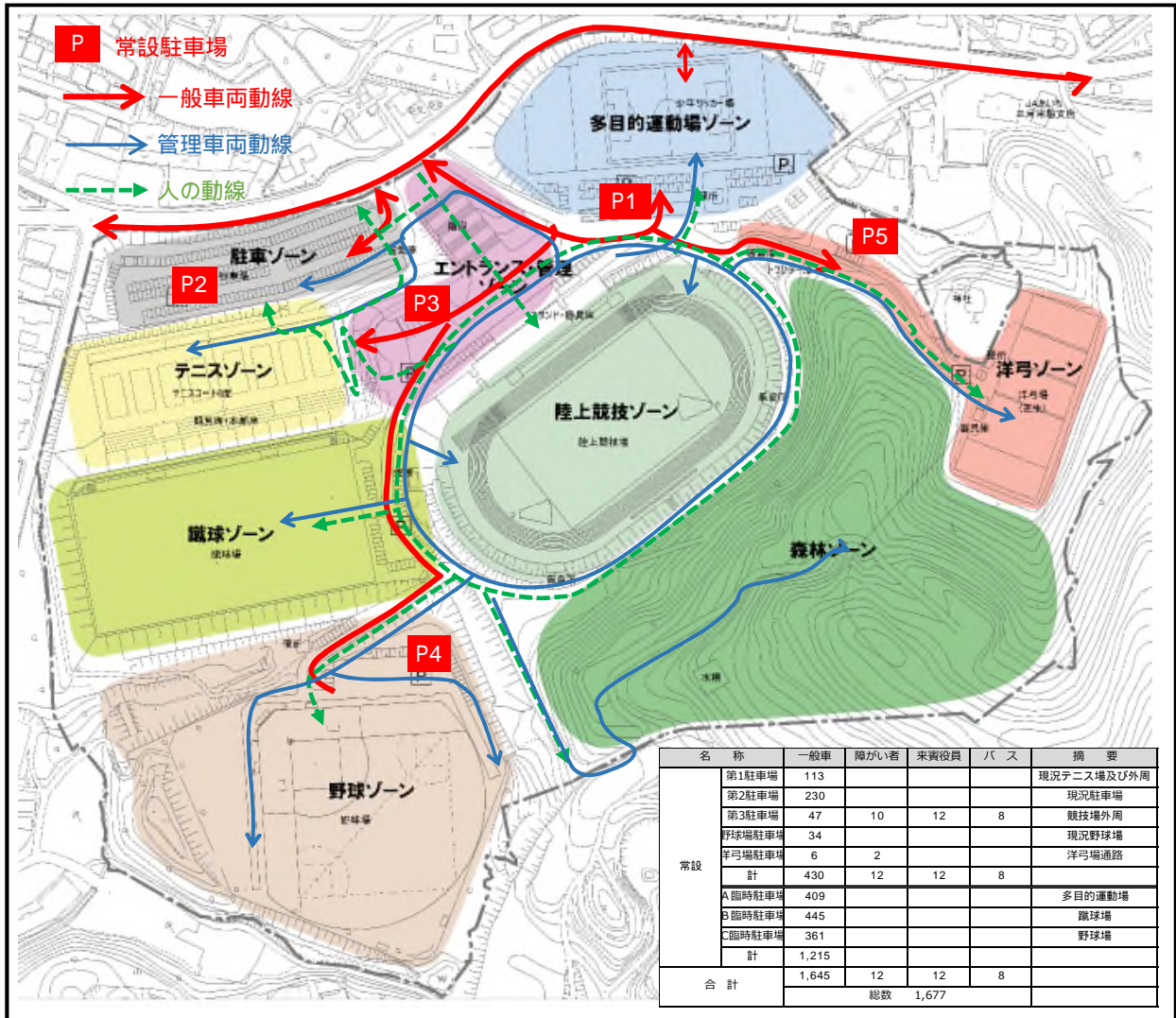


ゾーニングの検討

ゾーン名	現況	再整備後のゾーン
エントランス・管理ゾーン	計画地北側の県道南大須鴨田線からのアプローチがメインのアクセスである。 人や車（管理車両を含む）の動線、大きな大会やイベント時のアクセス面において、現在のエントランスゾーンにはバス停もあり、隣接して駐車ゾーンもあることから利用しやすい。	本計画地のメイン施設である陸上競技場へと通ずる利用動線をふまえると、従前地での対応が妥当
洋弓ゾーン	年間平均2,800人が利用する施設で再整備後も継続利用 風の影響を受けにくく洋弓場に適している。	従前地での対応が妥当
テニスゾーン	年間平均27,000人が利用する施設で再整備後も継続利用 現在クレーコート7面、ハードコート1面があるが、施設配置に統一性がなく使われていない余剰地もあること、観客席の整備の問題もあり、別敷地への配置検討が必要	テニスコート8面と本部席、観覧スタンドが一体的に整備可能な場所として、旧プールゾーンへの移行を検討（この手法をとることで一部供用期間が確保でき、効率よく整備が進めることができる） 県道沿いにある現在のテニスゾーンは、大会時の渋滞解消に向けた駐車場的役割のゾーンとして移行することを検討 但し臨時駐車場として利用しない通常時においては、少年サッカー等が行える多目的運動場として利用可能な整備を検討
野球ゾーン	年間平均23,000人が利用する施設で再整備後も継続利用 広い敷地を要する施設であり、別敷地への移行は現実的ではない。 利用状況からみて移転を必要とする要因はない。	従前地での対応が妥当
蹴球ゾーン	年間平均23,000人が利用する施設で再整備後も継続利用 広い敷地を要する施設であり、別敷地への移行は現実的ではない。 利用状況からみて移転を必要とする要因はない。	従前地での対応が妥当
陸上競技ゾーン	年間平均40,000人が利用する施設で再整備後も継続利用 利用状況から見て移転を必要とする要因はない。	従前地での対応が妥当
駐車ゾーン	駐車ゾーンとして整備	従前地での対応が妥当 イベントや大会時の臨時駐車場は別の場所で確保
森林ゾーン	ゾーンの変更に伴う大きな要因はない	従前地での対応が妥当
プールゾーン	施設の老朽化により廃止するため、別機能へ転換	起伏も少なく整形な形であるため、新たにテニスゾーンへ移行（コート8面が配置可能）



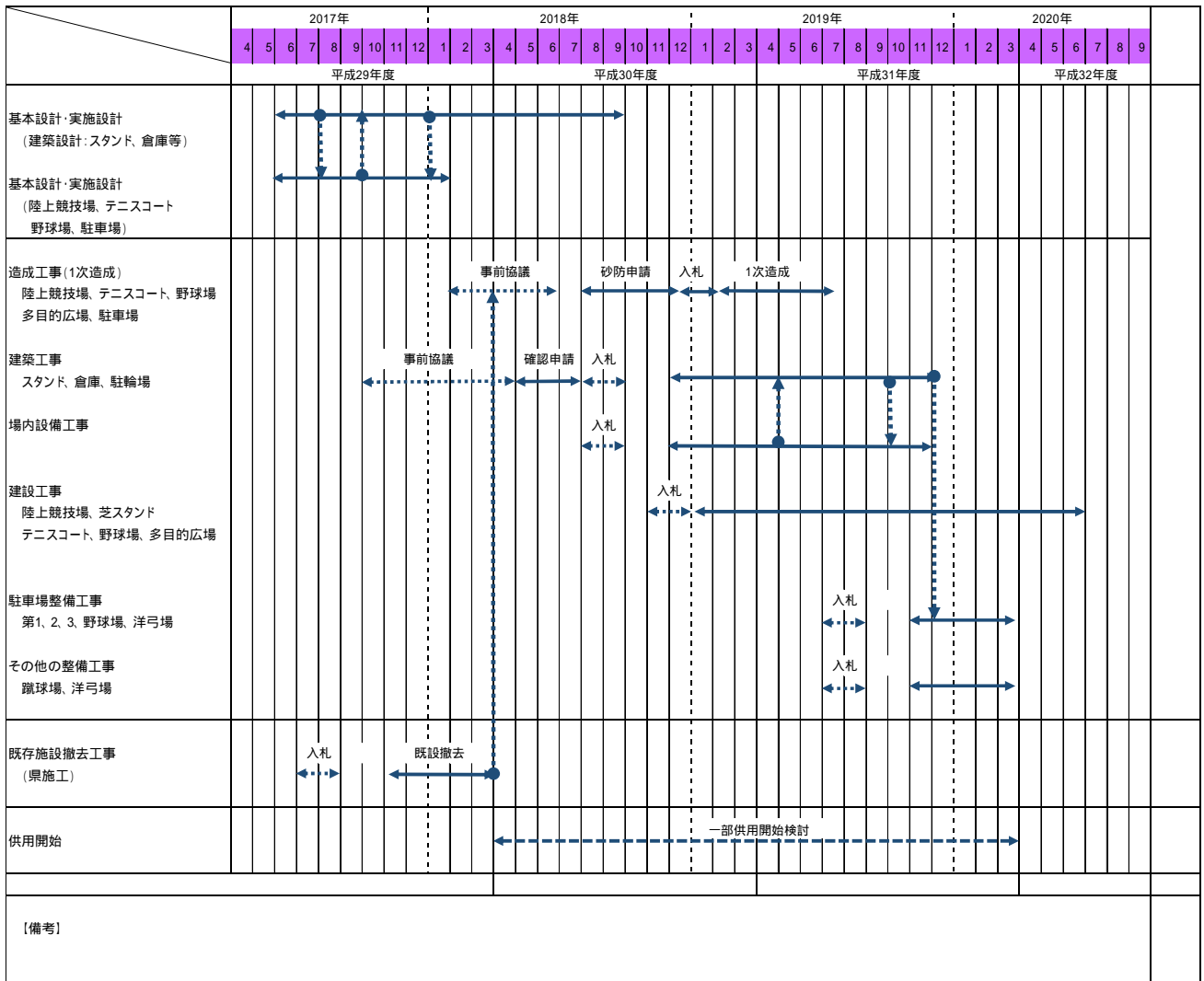
場内動線計画図



名称	一般車	障がい者	来賓役員	バス	摘要
第1駐車場	113				現況テニス場及び外周
第2駐車場	230				現況駐車場
第3駐車場	47	10	12	8	競技場外周
野球場駐車場	34				現況野球場
洋弓場駐車場	6	2			洋弓場通路
計	430	12	12	8	
A臨時駐車場	409				多目的運動場
B臨時駐車場	445				バスケットボール
C臨時駐車場	361				野球場
計	1,215				
合計	1,645	12	12	8	
		総数		1,677	

スケジュール

工程計画と年次計画



概算工事費

区分	項目	概算工事費(千円)
整備	建築・土木工事	2,944,000
	その他	500,000
維持 管理 運営	維持管理費	80,000
		ゝ
		90,000
	運営費	10,000
	ゝ	20,000